

TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクトによる、スタートアップとの協働  
現実空間と仮想空間をつなぐ芸術文化の新しい上演環境「XRアートシアター」  
パイロットモデルとして古典落語『死神』を公開

メタバースは、どんなアート体験や表現を可能にするか——。  
スタートアップと協働し、広大で複数の仮想空間を移動する上演環境「XRアートシアター」を公開。



東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団では、XRプラットフォームを提供する株式会社ABALと協働による「XRアートシアター『死神』」を2023年4月にシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] にて上演します。本取組は、2021年より実施する文化資源のデジタル化と多様な形態での鑑賞体験を提供するプロジェクト「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」の一環として実施するものです。スタートアップと協働し、現実世界と仮想世界の融合による新しい体験を作り出す技術（XR技術\*）を活用し、新たな芸術文化の鑑賞環境と作品体験を提案します。

今回発表する現実空間と仮想空間をつなぐ芸術文化の新しい上演環境「XRアートシアター」では、その独自の表現を探求するため、パイロットモデルとして古典落語の代表作『死神』を若手クリエイターとともに制作しました。鑑賞者は、ヘッドマウントディスプレイを装着し、浮世絵や屏風絵をモチーフとした広大で複数の仮想空間を往来する、XRならではの新しい表現を体験いただけます。本公演を通じ、最新のテクノロジーによるアート表現の可能性を、お楽しみください。

\* XR技術（Extended Reality）＝  
クロスリアリティと呼ばれ、VR（仮想現実）、AR（拡張現実）、MR（複合現実）、SR（代替現実）などの仮想空間技術の総称

開催概要

TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト× ABAL  
XRアートシアター『死神』

会期：2023年4月19日（水）～5月7日（日）13:00～19:00 ※月曜休館

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]

※体験時間：約30分 ※7歳以上対象

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 企画開発：株式会社ABAL

【予約優先制】ウェブサイトよりご予約ください。 <https://ccbt.rekibun.or.jp/events/xrtheater>



※内容は、都合により変更になる場合がございます。予めご了承ください。

本プレスリリースに掲載の画像は、<https://onl.tw/Jh5aQAp> からダウンロードできます。

この機会に、取材や記事掲載にご協力いただけますよう、よろしく願い申し上げます。

【お問い合わせ先】

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 企画部企画課  
Tel: 03-5458-2700（シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]）  
Email: [programs-inquiry@rekibun.or.jp](mailto:programs-inquiry@rekibun.or.jp)



# 1. TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト × 株式会社ABAL

## スタートアップと協働し、XR技術を活用した新たな芸術文化の鑑賞・参加機会を提案

東京都では、スタートアップとの協働で都政課題の解決を目指すピッチイベント「UPGRADE with TOKYO」を開催し、行政と民間の交流を促進する取組を実施しています。株式会社ABALは、2022年2月に開催された同イベントの第19回「XR技術等を活用した新たな芸術文化の鑑賞・参加機会の提供」にて優勝し、都立文化施設等を中心としたTOKYOスマート・カルチャー・プロジェクトの一環として「XRアートシアター」の取り組みをスタートしました。

この取組では、株式会社ABALが保有する「ロケーションベースVR」関連の特許技術を活用し、現実空間と仮想空間をつなぐ芸術文化の新しい上演環境「XRアートシアター」を提案するものです。観客は、ヘッドマウントディスプレイを装着し、広大で複数にまたがる仮想空間内を自在に移動し、作品や物語を体験することができます。本取組を通じ、XRを活用した、芸術文化の新しい鑑賞環境を提案するとともに、最新のテクノロジーによる表現の可能性を提示します。

## 「XRアートシアター」が提案する、芸術文化の鑑賞環境と作品体験

### ① 近年増加するデジタルデータを、仮想空間で臨場感をもって鑑賞する専用環境

芸術作品や文化財のデジタルアーカイブ、NFT（Non-Fungible Token：非代替性トークン）などのデジタルコンテンツが増える昨今、それらの鑑賞環境は、携帯電話やパソコンを通じたウェブブラウザが一般的でした。「XRアートシアター」は、こうしたデジタル作品を、仮想空間に配置して鑑賞可能にする、新しい展示・上演会場として構想されました。これまでブラウザで鑑賞していたデジタル作品を、仮想空間上の自由度の高い演出とともに展示・上演することで、現実では味わえない没入感のある、デジタル作品ならではの鑑賞体験を提供することができます。

### ② 4.5m四方の現実空間が、東京ドームサイズの複数の仮想空間へと拡張

「XRアートシアター」は、仮想空間内での自由移動や体験共有を可能とするABAL独自のVRソリューション「ABAL®システム」を用いて開発されています。4.5m四方の現実空間を、ABAL独自の空間圧縮技術によって仮想空間へと拡張。東京ドームサイズの複数の表現空間をつくり出します。これにより、限られた現実空間のスペースを利用しながらも、演劇・音楽・美術などの多種多様なコンテンツを、仮想空間上で表現することが可能になります。例えば、複数の空間を巡ってユーザーごとに異なる物語を楽しむ演劇表現や、広大なデジタル作品など、現実空間では表現しえない、バーチャルならではの新しいアート表現を追求することができます。

## 株式会社ABAL

株式会社ABALは2016年より、狭小空間に広大な仮想空間を構築する技術にフォーカスした知財開発を行っている。ソフトウェアとハードウェアを組み合わせ、VR空間内での自由移動・体験共有を可能にするソリューション「ABALシステム」を開発・提供。限られたスペースの中に巨大なVR空間を作る技術に強みを持ち、様々な広告イベント・店頭ディスプレイ・音楽ライブ等をVR空間の中で展開することが可能。  
公式サイト：<https://www.abal.jp>



## TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団

東京都の文化施設が有する収蔵品や、各館の展覧会・公演等の活動等の文化資源をデジタル化して記録・保存するとともに、多様な形態での鑑賞体験を提供するプロジェクト。東京文化戦略2030（2022年3月公開）の戦略2の推進プロジェクトでもある本事業は、東京都の基本政策「未来の東京」戦略「戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略」および「スマート東京 実施戦略」の「取組方針の柱2 公共施設や都民サービスのデジタルシフト」にも対応しています。本プロジェクトでは、文化資源のオンライン公開、最先端技術による新しい鑑賞体験の創出と、各館の情報環境整備を一体的に推進し、「誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境」を実現していきます。

## 2. XRアートシアター『死神』

現実空間と仮想空間をつなぐ芸術文化の新しい上演環境「XRアートシアター」

パイロットモデルとして、古典落語の代表作である『死神』を多数のクリエイターと制作

4.5m四方の現実空間を、ABAL独自の空間圧縮技術によって複数の広大な表現空間へと変貌させる「XRアートシアター」。TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクトと株式会社ABALは、これらの芸術文化領域での活用とユーザー体験機会の創出を目的に、パイロットモデルとして『死神』を題材としたVRコンテンツを制作しました。「XRアートシアター」の特徴である仮想空間内の移動を提示するため、物語の世界観が複層的に変化する落語「死神」を題材に選定。また、新しいテクノロジーによる創作機会を若手クリエイターにも提供するため、大学生を対象とした公募も実施。スタートアップと若手クリエイターによる協働チームを編成し、今回のコンテンツ制作が行われました。

本作の見どころ

### 江戸時代から伝わる落語と、テクノロジーの出会い

古典落語の『死神』は、いろいろな噺家が独自の演出を施し、セリフだけではなく、所作や表情でも楽しめる落語として親しまれています。今回は、この『死神』の世界観を、最新テクノロジーを用いることにより、キャラクターによる語りとダイナミックに切り替わるシーンで表現しています。



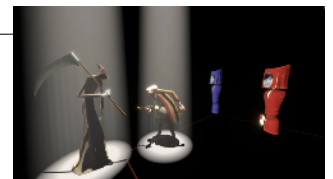
### 若手クリエイターによる最新テクノロジーを活用した作品制作

空間デザインには公募により選出された学生も参加。浮世絵や屏風絵の世界を立体的な描画で表現。さらに、キャラクターのモーションキャプチャにはダンサー等も多数参加しています。最新テクノロジーを活用した創作機会を若手クリエイターにも幅広く提供しています。



### バーチャル空間内では自撮りも可能。新しいXRの楽しみ方の提案

鑑賞者は、ヘッドマウントディスプレイを装着し、仮想空間内の『死神』の世界に没入します。さらに、自らシーンの移動を操作したり、キャラクターと一緒に自撮りができたりと、ARを活用した参加性の高い仕掛けも充実しています。



#### 作品概要

TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト× ABAL

### XRアートシアター『死神』

会期：2023年4月19日（水）～5月7日（日）13:00～19:00 ※月曜休館

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京【CCBT】 入場無料

※体験時間：約30分 ※7歳以上対象

【予約優先制】ウェブサイトよりご予約ください。 <https://ccbtr.rekibun.or.jp/events/xrtheater>

主催：東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 企画開発：株式会社ABAL

演出：尾小山良哉

脚本：開沼豊

振付：酒井麻也子

モーションアクター：渡辺和貴 開沼豊 幹山恭市

アンサンブルダンサー：酒井麻也子 三浦舞子 百木千恵 川上夏希

背景美術：李姿婷

音楽：藤原太郎

VR：工藤貴宏 松尾隆 岸井一 宮本周治 鈴木祥太 内藤智之

・本公演は、ヘッドマウントディスプレイ装着によるVRでの体験となります。7歳未満のお子様は装着いただけません。

・体験中に目の疲労、めまい、平衡感覚の喪失、吐き気、乗り物酔いに似た症状が出るなどの不快な症状を感じる場合があります。気分が悪くなったり、身体に異常を感じたりした際は、スタッフにお声がけください。

※本作は、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団で進める「TOKYOスマート・カルチャー・プロジェクト」の一環として企画制作されました。

